



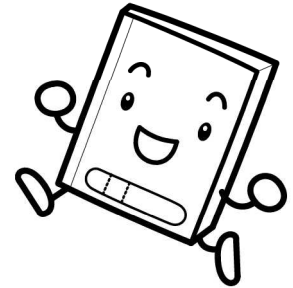
# 学校便り 太田っ子

令和2年 5月号

めざす子ども像  
おもいやりのある子  
おもいきり勉強する子  
たくましく生きる子

## 今こそ読書の習慣を！

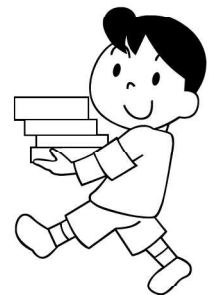
3月からはじめた臨時休校ですが、とうとう2か月になろうとしてます。学校では、いつ再開されてもいいように準備しているところです。不安な日々が続いておりますが、今だからこそできることもあると思います。何か興味のあること一つのこと、こだわって調べてみるのもいいでしょう。「読書」もその一つだと思います。



読書の効用は様々なところで語られています。例えば、自分の持っている言葉の数が増えるということです。本の中に出てきた様々な言葉の中には、分からない言葉や難しい言葉もあるでしょう。でも、読んでいるうちに前後の関係から言葉の意味を想像できるようになったり、何度も接しているうちに自分もその言葉を使えるようになったりします。使える言葉が増えるということは、考えたり、思ったりしたことを表現する幅が広がることにつながります。

さらに、読書によって考える力がつきます。読書により、新しい知識を得たり、それを自分の生活に結びつけたり、自分の考えを整理したりすることで、考える力がどんどんついていきます。

その他にも、自分が経験できない世界を知ることができたり、文章からイメージを広げ想像力を高めたりと、読書の効用はとてたくさんあります。



でも、一番の効用は「読書の楽しみ」だと思います。本を読むことによって楽しい時間を過ごすことができます。学校では、毎朝「読書タイム」を設定しています。掃除が終わったら、みんな静かに読書をしています。ぜひ、ご家庭でも「読書タイム」を設け、習慣化するようにはいかがでしょうか。

(校長 西尾 博之)